

一 般 質 問 通 告 書

大 台 町 議 会

令和7年第4回定例会

令和7年第4回大台町議会定例会 一般質問通告（質問事項）

通告順	（議席番号）議員氏名	質問事項
1 番	（8）古家大輔	①町の目指す広報戦略について
2 番	（2）宮田明彦	①連絡員（区長）の仕事について ②公園の管理について
3 番	（5）岸良隆	①保育園における子育て支援について ②保育園児の自然体験活動支援について ③地域おこし協力隊間の意見交換について
4 番	（9）小野恵司	①紀勢自動車道4車線化事業について ②歯と口腔について ③経済政策について

令和7年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	1 番	議席番号	8 番	議員氏名	古家 大輔
質 問 事 項	質 問 内 容 要 旨				質問の相手
①町の目指す広報戦略について	<p>町が目指すべき広報は、誰一人取り残さず正確な情報を届けることや、制度活用がしやすくなるよう工夫を凝らして発信していくことにより、住民サービスの充実につなげることが重要です。また、この情報発信力の強化は、町外へのイメージ戦略という観点からも、町の持続的な発展に不可欠な施策であるといえます。</p> <p>町は、令和7年4月15日の全員協議会で、これまで運用してきた行政チャンネル（ケーブルテレビ）について令和9年度を目処に廃止し、LINEやYouTubeを活用した情報発信へ移行していく計画案を提示しました。町民の重要な情報取得手段の変更に關わるこの移行計画について、改めて現状の計画と今後の広報戦略について伺います。</p> <p>(1) ケーブルテレビの行政チャンネルは、令和6年度に町が実施した町民アンケートにおいて、「情報の取得方法にあてはまる媒体」として4番目に多い28.6%の町民が情報を得ていると回答しています。一方で町は、広報紙「広報おおだい」や回覧板による文書配布等で十分に周知ができていると考えていることや、年間1,090万円という多額の費用がかかり費用対効果に課題があることなどを理由として廃止を検討しているとの説明がありました。改めて、町の情報発信についての全体像も踏まえ、移行により想定されるメリットとデメリットをどのように評価し、現在の廃止・移行計画に至ったのか伺います。</p> <p>(2) 令和9年度からの行政チャンネル廃止に向けて、令和8年度10月からの半年間を移行期間とすることが計画されています。長らく続いてきた運用であることを鑑みると、この移行期間が適切であるのか疑問も残りますが、この移行期間において、どのような周知活動</p>				町長

令和7年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	1 番	議席番号	8 番	議員氏名	古家 大輔
質 問 事 項	質 問 内 容 要 旨				質問の相手
	<p>を計画されているのか、具体的に伺います。</p> <p>(3) 町民の情報格差（デジタルデバイド）を拡大しないために、高齢者をはじめとするデジタル機器の利用が困難な町民への配慮として、紙媒体による広報紙「広報おおい」や回覧板による文書配布を継続していくことが重要と考えます。今後の計画について伺います。</p> <p>(4) 令和4年度からデジタルデバイド対策として実施している「スマートフォン教室」では、現在どのような課題があるか、また今後どのように取り組んでいくのか、町の計画を伺います。</p> <p>(5) 現在主流となっている動画での情報発信をより強化するためには、撮影・動画編集技術を身につけるための人材育成や、これまで通りの紙媒体での情報発信と SNS などを活用したデジタル化を融合させて発信していくことが、重要と考えます。今後、デジタル広報を担う人材育成や、動画制作に必要な機材の購入等をどのように行っていく計画か伺います。</p> <p>(6) 最後に広報戦略という観点で伺います。移行することで、視聴回数、リーチ数、クリック率など町民のニーズに関するデータ分析が容易になるという大きな利点が考えられますが、町民ニーズの把握について町の見解を伺います。また、その分析結果を広報戦略に活かし、継続的に改善を図るための PDCA サイクルをどのように構築していくのか伺います。</p>				

令和7年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	2番	議席番号	2番	議員氏名	宮田 明彦
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
①連絡員（区長）の仕事について	<p>大台町における連絡員の仕事は、「大台町連絡員設置要綱第6条」に掲げられているものだと思うが、第4号には「町の各機関等から依頼された事務に関すること」が職務として書かれていて、あいまいであり、町が無制限に必要な以上の仕事を区長に依頼していないか疑問を持ったので、以下について問う。</p> <p>(1) この要綱における連絡員と一般的な区長に違いはあるのか。</p> <p>(2) 「大台町連絡員設置要綱第6条第1項第4号」に規定された職務には町以外の機関も含まれるのか。あればどんなものがあるか。</p> <p>(3) 私が今年9月議会で一般質問した「選挙ポスターの掲示板の設置数と場所」について、早速区長に対して「ポスター掲示場の撤去、移設が必要な個所、あるいは新たに設置すべきという箇所を調査いただき、該当のある場合は要望書の提出をお願いします。」というお願いが町からあった。</p> <p>以前行われた区の掲示板を削減した時には、削減を前提としたため、区長が現地確認を行った上で結論が出しやすい、比較的取り組みやすい調査であったと考えるが、今回は、単に掲示板の設置場所の調査にとどまらず、区全体を調査して情報を収集した上で総合的な判断が求められる内容であったため、より負担の大きな調査であると考えている。本来であれば、まず役場側で全体調査を行い、案を示したうえで区長に協力をお願いするべきではなかったのか。区長の負担をできる限り軽減するという配慮が必要ではなかったのか。</p> <p>(4) 国内外の緑化活動のために実施されている</p>				町長

令和7年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	2番	議席番号	2番	議員氏名	宮田 明彦
質問事項	質問内容要旨			質問の相手	
	<p>緑の募金がある。この中には、共同募金的な主旨から、町より区長に依頼があり、その依頼文には「目標金額」が記載されている。しかし、そもそも募金とは、各個人の意思に基づいて行われるものであり、ノルマと受け取られかねない目標金額を添えて区長に依頼することには疑問を感じる。</p> <p>目標金額を提示して募金を依頼することは、いいのか。また、これは区長がやらなければならない仕事なのか。</p> <p>(5) 区長の仕事として、「大台町連絡員設置要綱第6条第1項第4号」に関わって行われる今の仕事は、特に見直しもなく慣例的に続けられてきたことではないかと推測される。近年は、区長のなり手を確保するのが非常に難しい状況にあるとも聞いている。</p> <p>そのような中、区長業務の負担軽減を図るためにも、現在行われている業務が本当に区長の担うべきものであるかどうか、改めて精査する必要があるのではないかと考える。</p> <p>町として、この検証について、どう考えているのか。</p>				
②公園の管理について	<p>夏のレジャーが盛んな時期、さくらの里公園を訪れた際、トイレを利用しようとしたが、駐車スペースがなく困った。ほとんどが、長時間駐車してレジャーを楽しむ方々の車で埋まっている状況であった。本来の駐車スペースでない所でも、空いていればトイレ利用者にとっては助かると感じた。</p> <p>また、この公園や三ツ谷池公園を訪れた際、柵が壊れていたり、老朽化した木材で作られた柵が今にも壊れそうな状況であったりすることを確認した。</p> <p>そこで、以下について問う。</p>			町長	

令和7年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	2番	議席番号	2番	議員氏名	宮田 明彦
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
	<p>(1) さくらの里公園を利用される方が困らないように、利用者には指定された駐車スペースのみに駐車するように周知し、駐車スペースでない場所については、「一時駐車場所(トイレ利用等)」として明確に表示し、長時間駐車をされないように促すなど、利用される方々に対して意識向上につながる取組を進めてほしい。</p> <p>これらの対応について、町としてどのように考えるか。</p> <p>(2) 公園の管理は、多くの経費が必要であることは理解しているが、柵は利用者の安全に直結する重要な設備である。現在使用されている木材の柵は、耐久性に問題があると考えている。</p> <p>今後は、耐久性と費用対効果の両面を考慮した材質の選定及び早急な改修と設置を検討して欲しいと考えるが、町の考えを問う。</p>				

令和7年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	3番	議席番号	5番	議員氏名	岸 良隆
質問事項	質問内容要旨			質問の相手	
① 保育園における子育て支援について	<p>こども誰でも通園制度が令和8年4月から始まります。以下の点について伺う。</p> <p>(1) 町は、こども誰でも通園制度の運用をどのようにするのか。</p> <p>(2) こども誰でも通園制度における受入れ対象の範囲などについて町独自の施策として拡大する考えはないのか。</p> <p>(3) こども誰でも通園制度、保育留学制度、一時預かり保育、の調整をどう行うのか。</p>			町長 教育長	
② 保育園児の自然体験活動支援について	<p>保育園児の自然体験活動が積極的に行われているが、地域の方のボランティアでの協力により支えられている部分がある。今後を考えると保育園で事業を行う場合の事業費を措置することも必要となってくる。予算化することを提案する。</p>			町長 教育長	
③ 地域おこし協力隊間の意見交換について	<p>令和6年6月の質問で地域おこし協力隊員の意見交換する場について、町が主催する交流する場の提供についても検討していきたいといわれた。検討した結果はどうであったか。</p>			町長	

令和7年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	4番	議席番号	9番	議員氏名	小野 恵司
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
①紀勢自動車道4車線化事業について	<p>平成18年3月に勢和多気JCTから大宮大台IC間が開通しました。その後熊野方面に延伸し、現在熊野大泊インターまで開通されたことにより、南三重への交通の利便性等が向上された他、観光や流通、防災、地域経済圏の拡大等に繋がりました。</p> <p>紀勢自動車道の勢和多気JCTから紀勢大内山IC間は国土交通省の示す、4車線当該優先整備区間に選定されており、令和2年度に大宮大台ICから紀勢大内山IC間の一部区間約6.2kmが、4車線に事業化され現在工事が進んでおります。</p> <p>その後、令和3年度には勢和多気JCTから大宮大台IC間、約11キロが4車線に事業化されました。そこで伺う。</p> <p>(1) 工事の内容、現在の進捗状況・今後の計画について伺うと共に、町として関わる事があるのか伺う。</p> <p>(2) 資材高騰等による工事費の増加で、当初の計画事業費では収まらない事が予想される。工事が滞る事なく進む様、国等に対して要望していく必要性があると思います。見解を伺う。</p> <p>(3) 4車線化により、期待される効果等について伺います。</p> <p>(4) 本工事は、大規模で長期間に及ぶことから、町としても可能な範囲で町内事業者が参画できるように要望していただきたい。</p> <p>また、町内の飲食店など事業者への経済効果が期待されます。町としての支援や関係機関との調整について伺う。</p>				町長
②歯と口腔について	<p>大台町の歯と口腔についてのアンケート調査結果では、8020運動を知らない人が39.0%で、令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられま</p>				町長

令和7年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	4番	議席番号	9番	議員氏名	小野 恵司
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
	<p>せん。男女・年代別にみると、男性は40代・80代以上で、女性は80代以上で知らない人の割合が高くなっています。実際に80歳以上で20本以上歯がある人の割合は、29.9%ですが、もう少し上げていく必要もあると考えます。</p> <p>(1) 8020運動の趣旨や必要性を明確に伝え、口腔機能が全身に与える影響について啓発を継続する必要があります。引き続き、広報紙や各種イベントを通じて、8020運動の理解を広げ、口腔ケアの重要性を訴えるべきと考えるが、町としての見解と今後の取り組むについて伺う。</p> <p>(2) 高齢者の口腔機能低下(オーラルフレイル)対策も必要と考えます。効果としては、要介護予防や医療費の抑制にも繋がっていくと考えます。口腔機能の低下は高齢者に多い、誤嚥性肺炎を起こすきっかけにもなりますので、高齢者の口腔ケア支援の取り組みについて考えていく必要があると考えるが見解を伺う。</p>				
③経済政策について	<p>高市新総理の元、大きくそしてスピーディーに、様々な対策が進められています。物価高騰対策もその一つであります。政府は11月21日に、新しい経済対策を閣議決定しました。子ども1人2万円給付や電気ガス料金の補助のほか、食料品支援などの物価高騰対策を盛り込み、経済対策の規模は21.3兆円程度とコロナ後最大となりました。</p> <p>重点支援地方交付金に2兆円を計上し、各自治体に「おこめ券」など1人あたり3,000円相当の食料品支援を原則実施させる方向としてしています。</p> <p>臨時国会の会期が12月17日の為、政府は12月上旬に重点支援地方交付金の予算成立を目指</p>				町長

令和7年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	4番	議席番号	9番	議員氏名	小野 恵司
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
	<p>すとされます。成立するとして、予算が決まればすぐに地方自治体へ交付額が示されますが、その額が決まらなると、どれくらいの世帯にいくら配るのかを自治体は決められませんし、そこから地方自治体が判断して支援策が決まっていく流れであります。12月中には詳細もわかってくるかと思ひます。そこで伺ひます。</p> <p>(1) 国の重点支援交付金の補正予算を受けた町民への物価高騰対策にかかる現時点でのスケジュール感を伺ひます。</p> <p>(2) 町民への物価高騰対策の内容として現時点での具体的な想定はどのようなことが考えられるのか伺ひます。</p>				